

PISA型読解力を高める家庭科学学習指導の実際

6年1組 家庭科学学習指導案

場 所 家庭科室
指導者 猪野 典子

1 題材 衣服のリフレッシュ
— めざせ 洗たく名人 —

2 題材の目標

- 洗たくに関心を持ち、気持ちよく衣服を着るために洗たくしようとする。
(家庭生活への関心・意欲・態度)
- よりよい洗たく方法を考えたり、自分なりに工夫したりすることができる。
(生活を創意工夫しようとする能力)
- 手洗いによる洗たくをすることができる。
(生活の技能)
- 環境を意識した手洗いの仕方が分かる。
(生活についての知識・理解)

3 題材について

(1) 題材観

本題材では、小学校学習指導要領における家庭科の内容(2)「衣服の関心」である。日常着を取り上げ、衣服に関心をもって生活場面に応じて着方を考え、衣服を大切に着るための必要な手入れの仕方が分かり、日常生活で実践できることを目指している。ここでは、児童の経験があまりない洗たくを小題材として取り上げ、手洗いを通して洗たくへの関心をもたせるだけでなく、課題を追究しながら知識や技能を身に付けさせたいと考え、問題解決的な学習を行うことにした。家庭科における問題解決的な学習は、PISAの読解力の読解のプロセスに似通っているとも言われており、問題解決的な学習を通して、学習の充実を図ることにより、家庭科での実践力とともに読解力も高めていきたいと考える。

(2) 児童の実態

(第6学年1組 35名 平成19年4月10日実施)

	や	る	たまにやる	あまりやらない	やったことがない
①洋服を自分で選ぶ	23	8	3	1	
②制服をハンガーにかける	24	4	5	2	
③洗濯物を手で洗う	3	4	4	24	
④洋服をたたむ	16	16	2	1	

洗たくに関して事前にアンケートをとったところ、児童は、親の選んだ洋服には関心を示さなくなっているようで、自分の好みで選んでいる児童は6割である。普段の衣服の手入れでは、ハンガーのかける、たたむなど簡単なことは自分で行っている児童が多かった。しかし、手洗いにおいては経験していない児童が過半数を超え、家庭では親がまとめて洗うことが多いため、自分の物を自分で洗う機会は、生活の中で与えられていないことがうかがえる。

(3) 指導観

本題材では、家庭科としての実践力を身に付けると共に家庭科ではぐくみたい読解力を合わせて高めていく。そのためには、学習活動や発問、学習カードなどの工夫を行う。特に学習活動では「課題をつかむ」から「深める・広げる」過程で、児童が相手に伝えなければならないという目的意識を持ち、誰もが発表者となることで全員の表現力、思考力を高めることができる学習方法の一つであるジグソー学習を取り入れる。本時は、前時に課題班での比較実験の結果を持ち寄り、学習班での報告会を行う場面である。児童が十分に学び合えるような場を設定することができれば、情報の共有化や互いのよさを認め合い、子ども相互のかかわりが深くなり、「考える力」が高まると考える。

4 題材の評価規準

	ア 家庭生活への関心・意欲・態度	イ 生活を創意工夫する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての知識・理解
内容のまとめごと	・衣服に関心を持ち、日常着を気持ちよく着たり、手入れをしたりしようとする。	・衣生活を見直し、日常着の着方と手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・日常着の着方と手入れに関する基礎的な技能を身に付けている。	・衣服の働きが分かり、日常着の着方と手入れについて理解している。
題材	・日常着の手入れに関心を持ち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。	・衣服を気持ちよく着るために、日常着の手入れを考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・手洗いを中心とした洗たくができる。	・衣服を気持ちよく着るために、洗たくなどの手入れについて理解している。
学習活動	①洗たくについて関心をもとうとしている。 ②自分の課題をもとに手洗いや洗たくをしようとしている。 ③手洗いや洗たくを家庭で実践しようとしている。	①自分なりに工夫して、手洗いや洗たくをしている。 ②実験の結果を報告し合い、自分の生活で生かしてみたいことを考えようとしている。	①衣服の汚れを観察することができる。 ②比較実験の計画を立てることができる。 ③手洗いや洗たくをすることができる。	①手洗いや洗たくの仕方が分かっている。

5 読解力を高める家庭科学学習の取組

3つの重点目標	7つの能力	家庭科学学習における読解力を高めるための具体化の取組
I テキストを理解・解釈したりする力を高める取組の充実	① 目的に応じて理解し、解釈する能力	ア 教科書や資料集などに書かれた文章や図表などを内容を理解する取組 イ 教科書などから読み取ったことを、製作や調理などの実践的・体験的な活動を通して、より深く理解する取組
	② 評価しながら読む能力	ウ 調理や製作などに関する説明文を読み、書かれた内容に沿って手順良く実際に行う活動 エ 目的をもって作った調理品や製作品を目的に照らしながら、「解釈」や「理解・評価」する取組
	③ 課題に即応した読む能力	オ ひとつの課題をもって、考えながら読み取る力を高める取組
II テキストに基づいて自分の考えを書いたり表現したりする力を高める取組の充実	① テキストを利用して自分の考えを表現する能力	ア 教科書や資料集などに書かれた文章や図表などに基づいて、自分の考えを書いたり、表現したりする取組 イ 生活の中から収集した情報や実習・実験の結果などを整理して、そのデータに基づいて考えをまとめる取組
	② 日常的・実用的な言語活動に生かす能力	ウ 目的をもって製作した調理品や製作品などについて、紹介する取組。 エ 題材の最後に自分の考えを書く機会 オ 学習や家庭実践などの成果を様々な表現方法（写真や感想文、図表）を用いてまとめる機会
III 様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会の充実	① 多様なテキストに対応した読む能力	ア 自分の生活に関わる調べ学習を通して、様々な文章や資料を読む機会の充実 イ 調理のレシピや製作の説明文などを読み、自分に必要な情報を得る機会
	② 自分の感じたことを簡潔に表現する能力	ウ 観察や実験などを行って気付いたことを記録する取組の充実 エ 学校や家庭実践の成果などを生かして、自分の言葉で自分の生活についての考えを表現する機会 オ 生活の中の情報及び調理品、製作品などについて発表する場面を設定し、自分の情報や作品について説明したり書いたりよさを共有したりする機会

6 指導計画

過程	読解のプロセス	高め読解力取組	読解力が高まった児童の姿	学 習 活 動 ☆ 読解力を意識した活動 ※テキスト	評価
問題を 見つけ る2	情報の 取り出 し 解釈	I ア	・自分の衣生活を見直そうとする児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 衣服を気持ちよく着るためにはどうすればよ いただろう。 </div> ☆ 実物を見る。触る。においをかぐ。 ・家でやっていることを発表する。 ・自分で試しに洗ってみる。 ☆ 試し洗いの結果 や感想を記入する。	ウ① ア①
課題を つかむ 1	情報の 取り出 し	I ア	・洗たくに関する情 報を集め、その内 容を理解し、必要 な情報を整理する ことができる児童 ・洗たくに関する情 報を整理するこ ができる児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> きれいに、環境にやさしい洗たくのひみつを 見つけよう。 </div> ジグソー学習（学習班） ☆ 洗たくをするための情報を集め、必要な情報を 取り出す。（教科書、家の人のインタビュー） ☆ 洗たくに必要な 情報のキーワード をグループで 話し合う。（水、洗剤、つけおき など）	ウ②
課題 追究す る 2	解釈 ・熟考 ・評価	I オ II イ	・問題解決に意欲的 に取り組み、自分 の考えをもつこと ができる児童 ・実験の結果を整理 してそのデータ をもとに自分の考 えが書ける児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> きれいに、環境にやさしい洗たくのひみつを 確かめよう。 </div> （課題班） ☆ 問題解決に取り組み、自分の考えをもつ。 ・比較実験を行う。 （例）水とぬるま湯では つけおきとすぐ洗うのでは ブラシなど道具を使うのと使わないの では 洗剤を使うのと使わないのでは ☆ 実験の結果 を整理して そのデータ に基づいて自 分の考えをまとめる。	エ①
深め る ・広 げる 1	情報の 取り出 し 解釈 ・熟考	I ウ III ウ	・実験の結果や自分 の考えを発表でき る児童 ・実験の結果を比較 検討し、学び合お うとする児童 ・学び合ったことを もとに自分の生活 で生かせることを 考えることができ る児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> わかったことをグループの友達に報告し、自 分の生活に生かせることを考えよう。 </div> （学習班） ・グループに戻り、報告会を行う。 ☆ 友達の実験の結果 を聞き、必要な情報を取り入 れる。 ・自分の生活で生かせることを考える。	イ②
生活 に生 かす 1	熟考 ・評価	III エ II エ	・自分の方法をもと に意欲的に洗たく を行おうとする児 童 ・洗たくの結果を記 入でき、自分の洗 たく方法を見直 し、自分の生活 に生かそうとする 児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 我が家の洗たく名人をめざそう </div> ・自分の洗たく方法を考える。 ☆ 自分の洗たく方法 を記入する。 ・家庭で洗たくを行う。 ☆ 自分の洗たく方法の結果 を記入し、見直しをす る。	イ① ア③

7 本時の学習

- (1) 目標 実験の結果を報告しあい、自分で必要な情報を取り出し、自分の生活に活かしてみたいことを考えることができる。
- (2) はぐくみたい読解力
 テキストを理解・評価しながら読む能力
 様々な文章や資料を読む能力や、自分の意見を述べたり書いたりする能力
- (2) 準備・資料
 学習カード、発表に必要なもの（実物、用具など）
- (3) 展開

学習活動・内容	☆ 発 問	○教師の指導，◎読解力を高める指導， □評価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 分かったことをグループの友達と報告し合い、自分の生活に活かしてみたいことを考えよう。 </div> <p>2 グループで報告会をする。 (学習班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな実験をしたのか ・どんなことが分かったのか ・どんなことを考えたのか <p>3 自分の生活で活かしてみたいことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お風呂の残り湯を使って洗たくすると汚れも落ちるし、環境にもやさしいのでやってみよう ・ サッカーのあとのくつ下は、つけおきすると汚れがはやくおちるみたい 	<p>☆ 前の時間には、どんなことを学習しましたか。</p> <p>☆ 今日の時間は、どんなことを学習しますか。</p> <p>☆ 今日は学習班でグループを作り、前の時間に行った実験の報告会をします。友達に結果を報告します。<u>どんな実験をしたのか、それでどんなことが分かったのかを友達に分かるように発表してください。</u>聞いている人は分かったことをプリントに記入しましょう。</p> <p>☆ 友達の発表を聞いて、<u>なるほどと考えたことや自分で試してみたいと思ったこと、もっと考えてみたいと思ったことは</u> ありますか。</p> <p>☆ それでは、自分で実験したことや友達の報告を聞いてこれは家に帰って使えそうだなというものはありますか。<u>どんなことが生活に活かせるか、プリントに記入しましょう。</u></p>	<p>○ 前時の学習を想起させることや本時の学習を児童の言葉で発表することにより、本時の活動への意欲を高めさせる。</p> <p>◎ 発表する児童には、実際に実験していない友達にも分かるように、洗たくした結果のものを示したり、やってみせたりするなど意識して説明を行うようにさせる。聞いている児童は、分かったことをプリントに書き、情報を整理しやすいようにする。</p> <p>◎ 報告が一方にならないように発表しているときに、聞いている友達とのかかわりがとれるように工夫させる。</p> <p>○ グループの構成によっては、全部の実験を行った児童がいないため、その実験の結果については、全体で発表する場を設け、情報の共有化を図る。</p> <p>◎ いくつかの友達の実験の結果から、気付いたことを書かせ、必要な情報を取り出すことができるようにする。</p> <p>○ 自分の家庭生活をもう一度見直し、自分が学習したことを生かすことができる場を考えさせることで、家庭の仕事の大変さが分かったり、家庭の仕事を手伝おうとする意識を高めたい。</p> <p>◎ 友達からの情報と自分の実験の結果等を生かして、自分の言葉で自分の家庭生活についての考えを書けるようにする。</p> <p>㊦ 実験の結果を報告し合い、自分の生活で活かしてみたいこと</p>

<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>☆ 自分の生活で生かしたみたいことを発表してください。</p>	<p>を考えようとしている。 (学習カード)</p> <p>○ 友達の発表を聞き、自分でできることを考え、少しでも家庭で行っていかうとする実践力につなげていきたい。</p>
----------------------	------------------------------------	--